

# SN3101/RealCOMモードセットアップガイド

---

## 目次

---

### SN3101/RealCOMモードセットアップガイド

#### 目次

[【必ずお読みください】 ご注意](#)

#### RealCOMモードとは？

[箱を開けてからの、セットアップの流れ](#)

[※本体/モジュールのバージョンの最新化について](#)

[本体最新化の手順](#)

[SN3101のWindows用ユーティリティソフトウェアについて](#)

[SN3101本体をアップグレードする](#)

[ブラウザからログインして、アップグレードする](#)

[SN3101のrealCOMモードの設定](#)

[Windows用ユーティリティのインストール](#)

[ユーティリティソフトの設定](#)

[SN3101のRS232コネクタについて](#)

[備考・デバイスマネージャ上での扱われ方について](#)

#### FAQ

[ユーティリティを終了しても立ち上がってしまう](#)

[ユーティリティをアンインストールしたい](#)

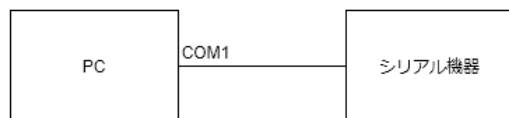
## 【必ずお読みください】 ご注意

---

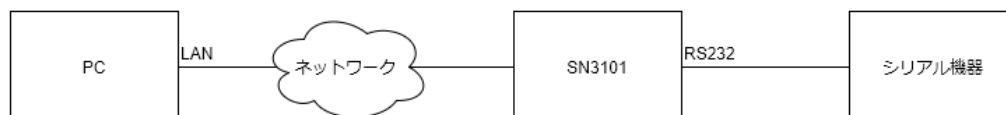
- 当ガイドは製品マニュアルの補足を目的に作成しており、「開梱から使用開始するまでのセットアップ」のガイドとして作成しています
- 詳細の手順を割愛していますため、詳細手順の確認をされたい場合は、製品マニュアルをご参照ください
- 弊社製のKVM製品やマニュアルは、予告なく仕様変更などが行われます
- 弊社では、製品に対しての技術サポートの提供は最新版のファームウェアでのご利用が前提となります。過去バージョンでは発生している問題・障害に対してはまず最新でのアップグレードを実施してからご確認ください
- 仕様変更によって、最新のハードウェアでは過去のバージョンのファームウェアに書き換えを行えが出来ない、強制的に行った場合に製品が動作不能になるおそれがございます。弊社では同製品内の過去互換性についてはサポート外となりますため、ご理解頂きますようお願い申し上げます
- ご利用から3年以上経過した製品については、仕様変更に伴い最新のファームウェアはご利用頂けない可能性がございます。この経過した製品への技術サポートの提供は不可となります。この場合に対しては、製品がアップグレードが出来るまでのバージョンへ上げてから、動作確認を行ってください。もし、改善が見られなかった場合は、製品リプレイスでの解決による方法をご検討いただきますようお願い申し上げます

# RealCOMモードとは?

- SN3101のモードで、以下のような利用方法となります
- 操作時のイメージ



実際の接続図



- SN3101とPCをLANケーブルなどを使ってネットワーク越しに接続する
- PCにユーティリティソフトをインストール・設定をして、あたかも遠隔地にあるシリアル機器がPC本体のCOMポートで直接シリアル機器を接続しているような使い方ができる

## 箱を開けてからの、セットアップの流れ

- 以下の流れでの準備を行ってください

1. 本体のバージョンの最新化と設定
2. Windows用ソフトのインストール
3. 設定確認

### ※本体/モジュールのバージョンの最新化について

- 弊社製のKVM製品は製造時では最新のファームウェアを搭載した状態で出荷されますが、物流などの要因によってお客様のお手元に届く前に、更なる最新版が公開がされているおそれがございます。そのため、実際に構築・利用する前に必ず最新版か確認を行ってから、構築を行ってください

## 本体最新化の手順

- ファームウェアアップグレード用のアプリを弊社の製品ページから最新バージョンをダウンロードします(以下は2020年4月3日時点のスクリーンショットとなります)

<https://www.aten.com/jp/ja/products/modelno/SN3101>

## ファームウェア▼

説明	バージョン	リリース日	ファイル名
Firmware Upgrade	v1.4.133	2018-06-25	<a href="#">sn3101_v1.4.133.zip</a>
Firmware Upgrade	v1.4.132	2015-01-20	<a href="#">sn3101_v1.4.132.zip</a>
Firmware Upgrade	v1.3.129	2014-11-07	<a href="#">sn3101_v1.3.129.zip</a>
Firmware Upgrade	v1.3.128	2014-09-11	<a href="#">sn3101 v1.3.128.zip</a>

## SN3101のWindows用ユーティリティソフトウェアについて

Windowsソフトウェア&ドライバー				
Windows 2000, Windows 2003, Windows XP	Virtual COM Port	v2.2.212	2016-04-19	<a href="#">sn_real_com_port_win2k_xp_2003_v2.2.212.zip</a>
Windows 7, Windows 2008	Virtual COM Port	v2.2.212	2016-04-19	<a href="#">sn_real_com_port_win7_2008_v2.2.212.zip</a>

- Windows10のPCにインストールする場合は、「sn\_real\_com\_port\_win7\_2008\_v2.2.212.zip」をダウンロードしてください(2020年4月3日時点の最新版となります)

## SN3101本体をアップグレードする

- 詳細の手順は製品マニュアルの「ファームウェアアップグレードユーティリティ」を併せて参照してください
- 製品マニュアルは予告なく、更新が発生することがございます。その場合は、製品ページの「サポートとダウンロード」から新しいマニュアルにてご確認ください

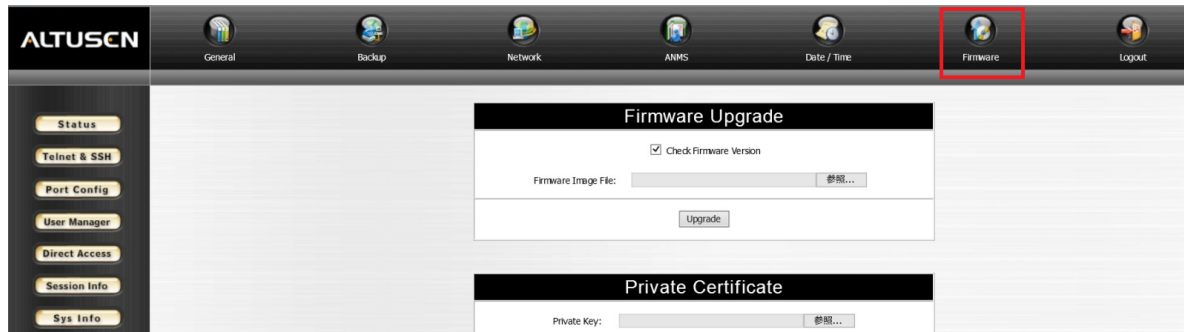
[https://assets.aten.com/product/manual/jp-manual/EN/sn3101-w\\_2017-04-06.pdf](https://assets.aten.com/product/manual/jp-manual/EN/sn3101-w_2017-04-06.pdf)

- ネットワーク部のアップグレードをする場合は、SN3101とPCをLANケーブルで接続し、ブラウザからログインしてください。SN3101の初期IPアドレスは「192.168.0.**60**/255.255.255.0」です

※販売当初のファームウェアバージョンのSN3101を使用している場合は、「192.168.0.**10**/255.255.255.0」となります

### ブラウザからログインして、アップグレードする

- ブラウザでログインした後、上のメニューアイコンの「Firmware >Firmware Upgreade」でファームウェアを参照し、upgradeボタンを押してください
  - Firefox、ChromeなどではセキュリティのアップデートなどによってSN3101の管理画面にアクセスできないことがあります。その場合はIE11を使用してアクセスを試みてください。また、IEでもアクセスできない場合は、IEの設定を初期化した後、一時的に「インターネットオプション>詳細設定>SSL2.0を使用する」と「SSL3.0を使用する」を有効にしてアクセスを試みてください



- アップグレード完了後、自動的にSN3101は再起動を行い、起動したら完了します

## SN3101のrealCOMモードの設定

- SN3101のGUIにリモートPCからLAN経由でログインします



- 左ペインのメニューから「Port Config」をクリック

Port Configuration				
Select	Port Number	Port Name	OP Mode	Port
<input checked="" type="radio"/>	COM1	COM1	Real COM Port	5200

Property Settings

Advanced Settings

- 「Property Settings」をクリック

Port Property Settings	
Port ID:	COM1
Port Name:	COM1
Interface:	RS-232
Baud Rate:	19200 bps
Data Bits:	8 bits
Parity:	None
Stop Bits:	1 bit
Flow Control:	None
Enable Toggle DTR:	No
Online Detect:	DSR
Out CRLF Translation:	CRLF->CR
Suspend Character:	D
Operating Mode:	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">           Console Management  <b>Real COM Port</b>            TCP Server            TCP Client            UDP Mode            Modbus RTU Master            Modbus ASCII Master            Modbus RTU Slave            Modbus ASCII Slave            Virtual Modem         </div>
Timeout:	
Authorized Operators:	

☐ Enable Data Encode

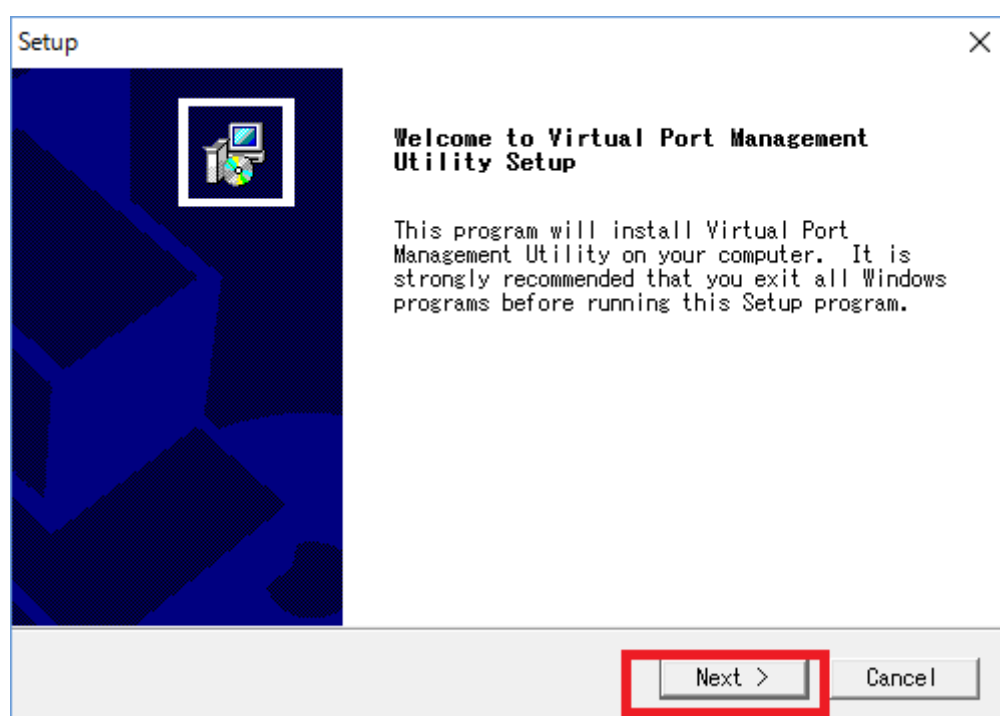
- [Operating Mode]のプルダウンメニューで[Real COM Port]を選択する
  - 必要に応じて、各ボーレートの設定などもこの画面にて実施してください
- [Update]ボタンを押したら、本体側の設定は完了です

## Windows用ユーティリティのインストール

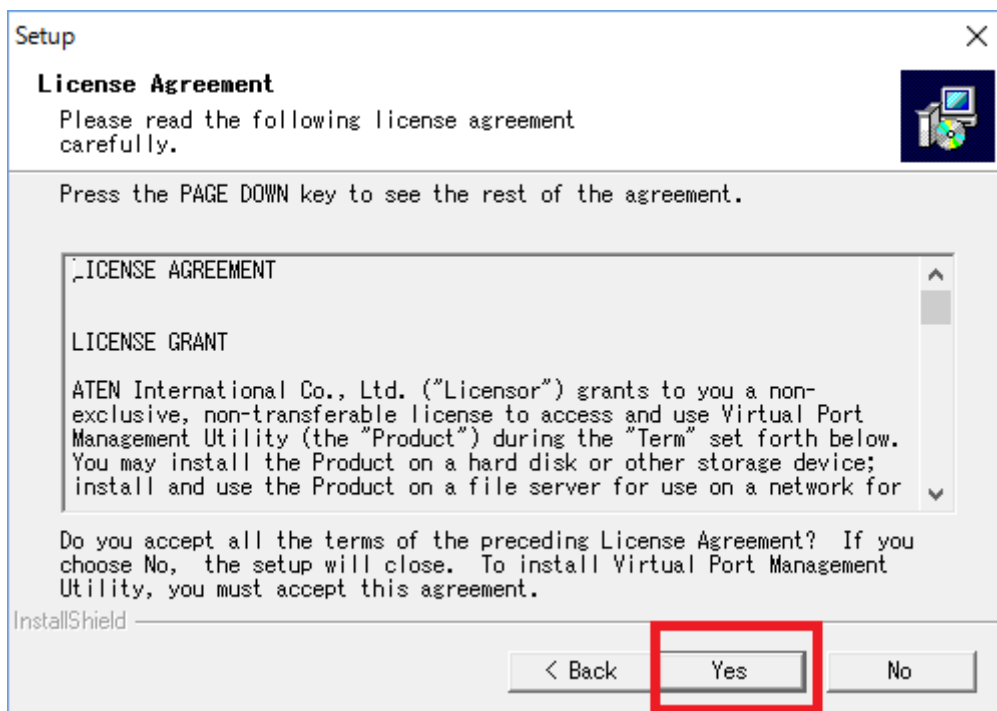
- Windows10環境でのインストール方法を記載します
- zipファイルを解凍後、OSのbit数に合わせてインストールプログラムを管理者権限で実行してください



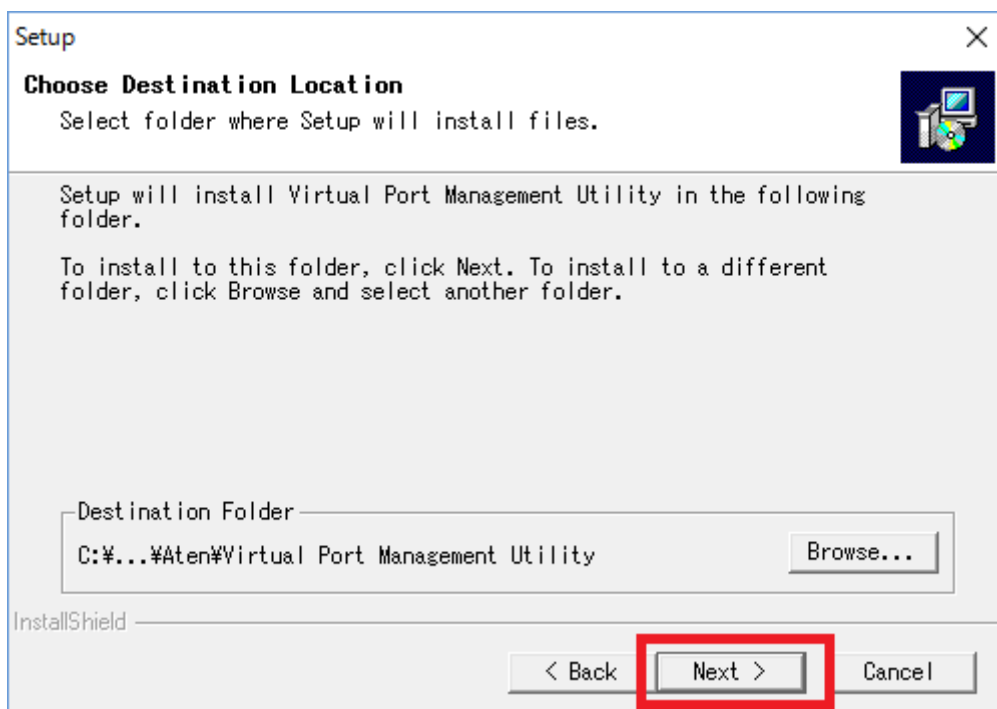
- 起動後、ウィザードに従ってインストールを行ってください



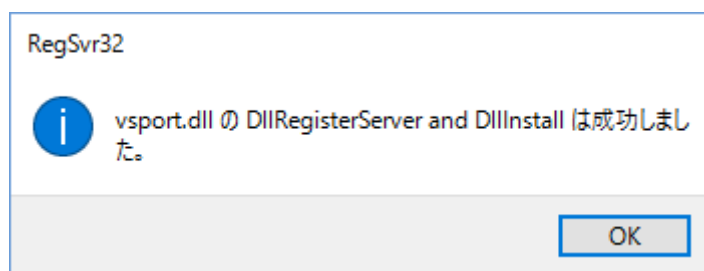
- [Next]をクリック



- [Yes]をクリック




- インストール先のフォルダを指定後、[Next]をクリック
- この後の設定も[Next]をクリックするとコピーが始まります。



- このポップアップが表示されるとインストールは成功となります。失敗した場合、インストール用アプリを管理者権限で起動していない、他ソフトの起動によってインストールが出来ないケースがあります
- この表示後、終了を示すメッセージポップアップが表示が出て、OKを押すと終了となります

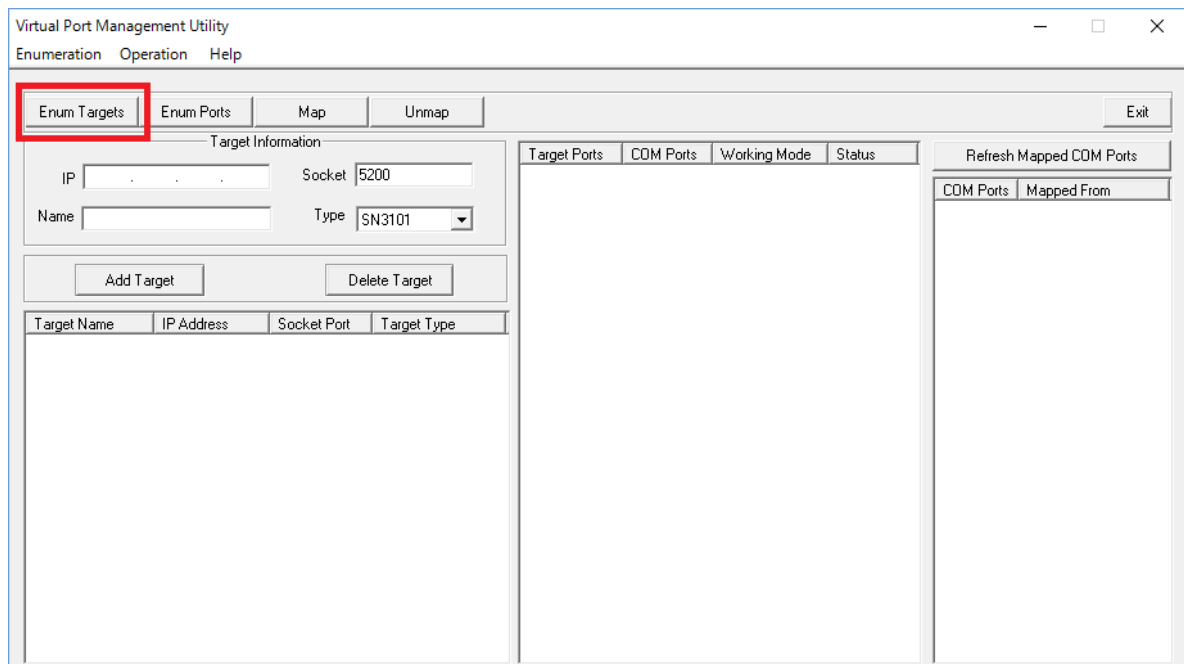


# ユーティリティソフトの設定

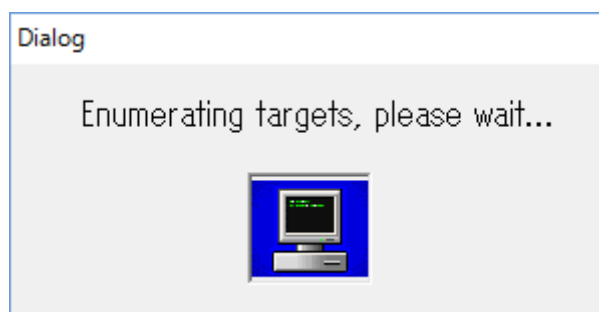
- インストールしたアプリは常駐しています
- windowsのタスクバーからは右下から、「」アイコンを右クリックを選択し、[Restore]を選択します



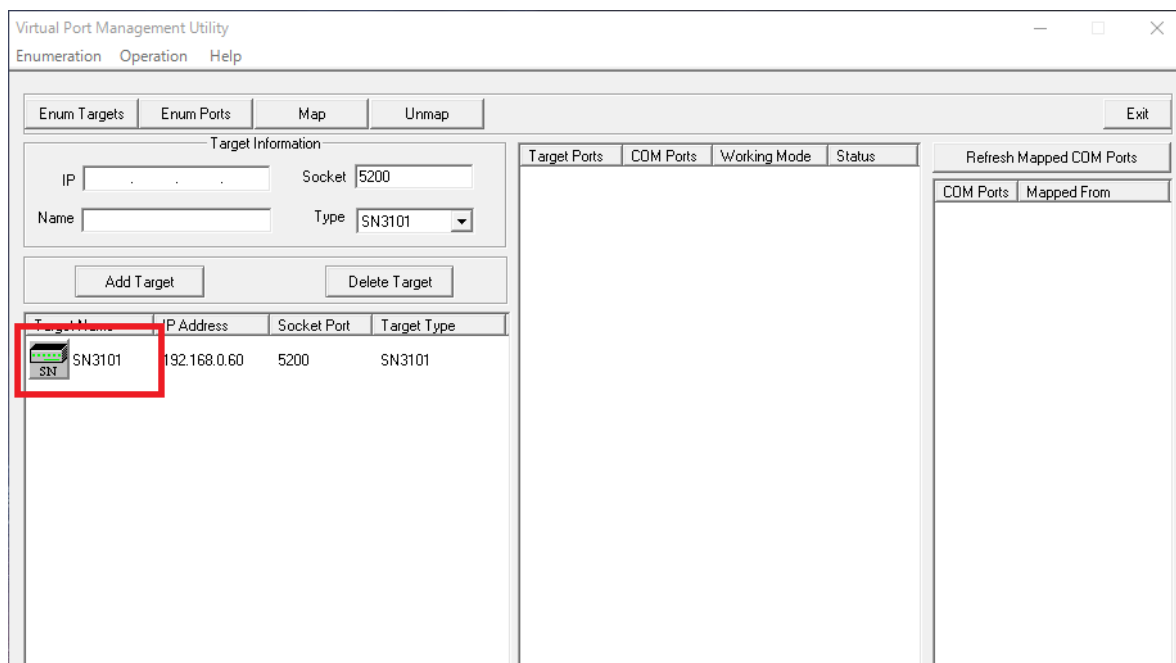
- アプリが起動して、以下のようなアプリが画面が表示されます




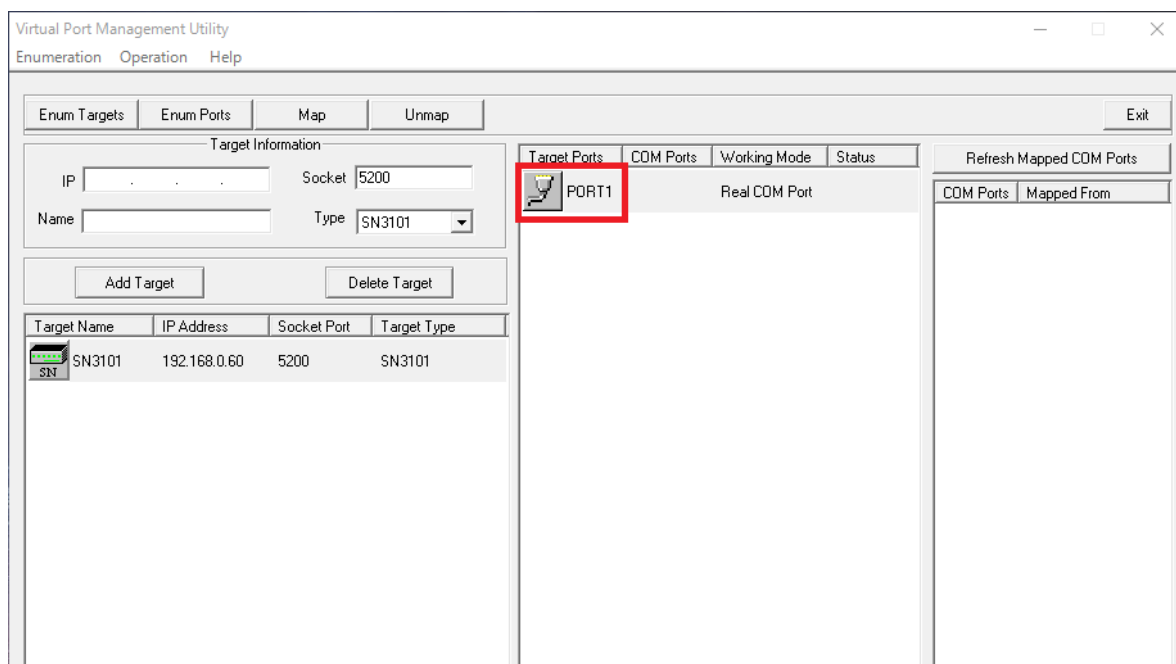
- トップ画面左上の[Enum Targets]ボタンを押します



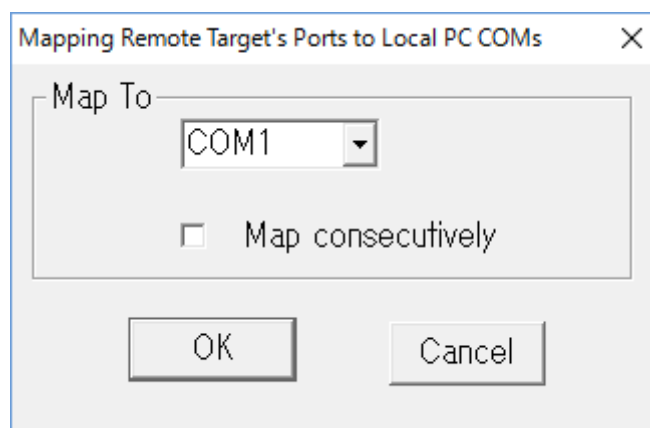
- PCとSN3101が同じネットワークセグメントにあると、自動的にアプリがデバイスを検出します



- SN3101が検出されると左のリストに登録されます
- [  ]のアイコンをダブルクリックします
- しばらくすると、以下のようにPCにPort1が登録されます
- ※このPort1はPCでのCOM1という意味ではなく、SN3101内の管理上のIDとなります



- 真ん中の「PORT1」をダブルクリックします



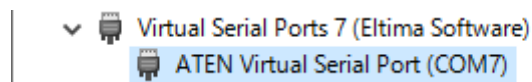
- このポップアップにて、WindowsPCに割り当てたいCOMポートの番号を割り振ってください
  - 注意・WindowsPCによってはCOM1は内部的に割り当てられているために指定が出来ないケースがあります。特定のシステムに対しての指定などがなければWindowsで自動的に振られる「COM10」以降のポート番号の割り当てをすることでシステムの不具合を回避できることがあります
- ソフトの設定を保持したまま閉じる場合は、ユーティリティの最小化ボタンを押して閉じてください
- これで設定終了です

## SN3101のRS232コネクタについて

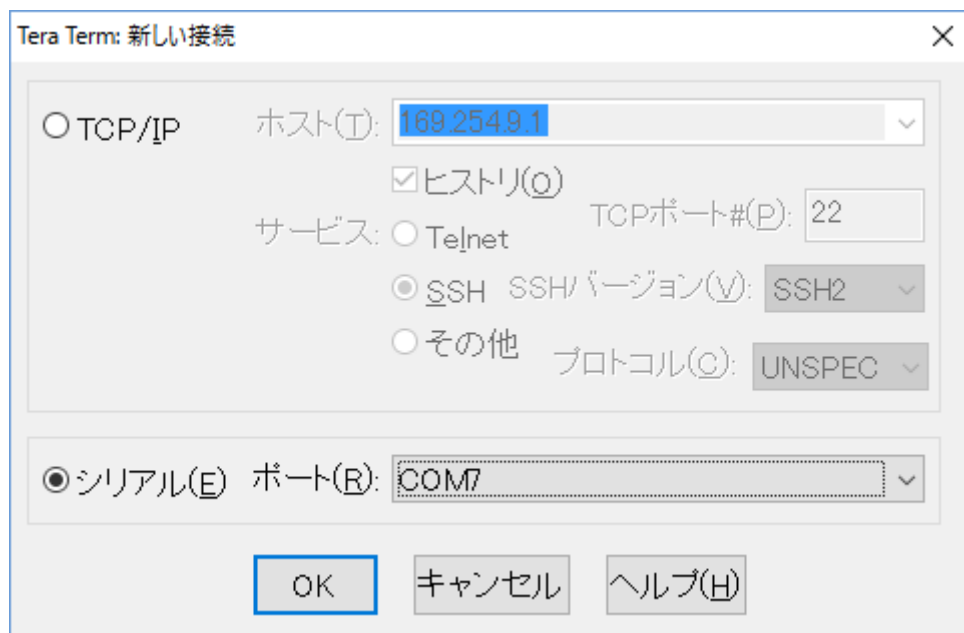
- SN3101本体のオスコネクタはPCのCOMポートで使用されているコネクタと同じDTEのピンアサインとなります。
- 例・SN3101のRS232コネクタとCiscoスイッチ向けロールオーバーケーブルと接続することで、そのままCiscoスイッチのconsoleへと接続してご利用いただけます

## 備考・デバيسマネージャ上での扱われ方について

- 正しくデバイスが設定できていると、デバيسマネージャでは以下のように認識されます。汎用的なLPTポートなどでの配列下ではないので、ご注意ください



- また、TeraTermなどで利用する場合は、以下のように表示されます





# FAQ

- 以下の記事以外にも、弊社技術サポートサイト「eSupport」では随時FAQを公開しているため、併せてご参照ください
- 検索ワードには問題に関する単語の他にも、型番入力での検索にも対応しています

[https://eservice.aten.com/eServiceCx/Common/FAQ/list.do?lang=ja\\_JP](https://eservice.aten.com/eServiceCx/Common/FAQ/list.do?lang=ja_JP)

## ユーティリティを終了しても立ち上がってしまう

- [Exit]またはアプリウインドウの閉じるボタン  ユーティリティを閉じると、アプリを終了し、再度起動させるという判断となります。
- 終了させずに閉じる場合は、アプリウインドウの最小化ボタン  を押して、ウインドウを最小化させてください

## ユーティリティをアンインストールしたい

- 設定または、コントロールパネルから、以下のアプリをアンインストールしてください

